

平成29年度 基本評価調査

施策名	海獣等による漁業被害対策の推進	所管部局	水産林務部	作成責任者	水産林務部長 幡宮 輝雄	施策コード	07 - 03
		照会先	総務課政策調整G (内28-163)	関係課	水産振興課、漁業管理課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標
	1	生活・安心	(3)	豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承	B	人と自然・生き物が共生する社会づくり	
2	経済・産業	(1)	農林水産業の持続的な成長	B	水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり		漁業生産額(漁業就業者1人当たり)
北海道創生総合戦略	A3192		北海道強靱化計画		新・北海道ビジョン	C01701、C01703、C01704	
特定分野別計画等	北海道水産業・漁村振興推進計画						

1 目標等の設定

現状と課題	施策目標					
	<ul style="list-style-type: none"> 北海道に來遊する海獣(トド、オットセイ、アザラシ)による漁業被害は、近年20億円を超える被害が発生し、平成27年度は23億円超と大きな被害となっており、漁業被害に大きな影響を与えていることから、漁業被害防止対策を総合的に推進する必要がある。 また、道内に生息する外来魚は、魚食性が強く、水産資源や生態系に与える影響が懸念されるため、これ以上の拡散や影響を防ぐ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> トド・オットセイによる漁業被害対策を総合的に推進し、被害の低減・防止を図る。 外来魚の駆除及び拡散防止を図る。 				
施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	1(3)B 2(1)B	【海獣被害対策】 [道]振興局海獣被害防止対策連絡会議、海獣対策本部等による情報の共有化等の推進、対策検討等により被害対策を推進 [道]北海道連合海区漁業調整委員会によるトド採捕に関する委員会指示に基づくトド採捕管理 オットセイ漁業被害軽減対策検討会による検討			H27	6,568
	1(3)B 2(1)B	【外来魚対策】 [道]法律及び規則に基づく駆除の実施、確認防止の取組を推進 など [国]防除手法の開発 など [市町村・民間]関係団体、ボランティア等による駆除 など			H28	6,108
					H29	5,057

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	1(3)B 2(1)B	<p>◎漁業者ハンターの育成、国費(有害生物漁業被害防止総合対策、鳥獣被害防止総合対策)を活用した駆除、被害を軽減する強化網導入の他、トド採捕個体の有効利用検討のための成分分析調査等の被害防止対策を実施する。</p> <p>◎トド駆除等被害防止対策による支援の充実・強化及び漁具・漁獲物の被害や休業による所得の減少への補償に向けた支援制度について、国に政策提言や制度創設の要望を行う。</p> <p>◎振興局海獣被害防止対策連絡会議、庁議(海獣対策本部)等による情報の共有化を図るとともに、海獣類パネル展(H29年8月開催)や海獣類による漁業被害防止対策への積極的な取組に対する功績の表彰等により、情報収集・PRの強化に取り組む。</p>		
	1(3)B 2(1)B	◎外来魚の駆除及び拡散防止に向け、道南地域においてブラウントラウトなどの駆除・生息調査等を実施する。		

<前年度意見への対応>

前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容)		付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点)	

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取り組が必要な事項
		北海道創生 総合戦略	北海道強靱 化計画	新・北海道ビ ジョン	
1(3)B 2(1)B	<p>【トド等海獣類漁業被害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者ハンター育成に対する支援を行った(H28度8名育成) ・国費(有害生物漁業被害防止総合対策、鳥獣被害防止総合対策)を活用した駆除、被害を軽減する強化網導入の他、トド採捕個体の有効利用のための検討を行った。 	A3192	-	C01701,C01703	
1(3)B 2(1)B	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年7月に国に対しトド駆除等被害防止対策による支援の充実・強化及び漁具・漁獲物の被害に対する補償など新たな支援制度創設の要望を行った。 	A3192	-	C01701,C01703	
1(3)B 2(1)B	<ul style="list-style-type: none"> ・振興局海獣被害防止対策連絡会議による情報の共有化を図るとともに、海獣類パネル展(H28.8月開催)や海獣類による漁業被害防止対策への積極的な取組に対する功績の表彰等により、情報収集・PRの強化に取り組んだ。 	A3192	-	C01701,C01703	
1(3)B 2(1)B	<p>【ザラボヤ被害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり総合交付金によりザラボヤ等の洋上駆除を目的としたホタテガイ洗浄機の導入を支援したほか、ザラボヤの産卵や成育情報をもとに適切な時期における洋上ザラボヤ駆除について漁業関係者へ周知した。 	A3192	-	C1704	

1(3)B 2(1)B	<p>【クラゲ被害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太平洋沿岸域におけるキタミズクラゲの出現及び被害状況について情報収集を行い、その結果については、国費(有害生物漁業被害防止総合対策事業)事業窓口の水産業・漁村活性化推進機構及び漁業情報サービスセンターへ情報提供を行った。 	A3192	-	C1704	
1(3)B 2(1)B	◎ブラウントラウト・ブルーギルの調査・駆除を実施し、生息・食性状況等のデータを蓄積した。	A3192		C01701,C01703	

(2) その他の取組の成果等			
国等提案・要望状況	<p>農水省・水産庁及び道選出国會議員に国費要望(H28.11月、H29.7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トド等の海獣による漁業被害対策の充実・強化及び新たな支援制度の創設 	施策に関する道民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・トド等海獣類による漁業被害を受けている宗谷地域等関係各地域の総合開発期成会等から被害対策の充実強化等について、要望を受けている。 ・H29.7には、日本海各漁協が主体となり、道選出国會議員等を招いて「トド等海獣類漁業被害対策緊急集会」を開催し、漁業被害による窮状と対策強化を強く訴えたところ。 ・上記要望を参考に、トド・オットセイ被害防止対策事業による漁業者ハンター育成の取組や国の有害生物漁業被害防止総合対策事業等によるトド駆除等の被害対策の充実強化に取り組むこととした。

平成29年度 基本評価調書

施策名	海獣等による漁業被害対策の推進	施策コード	07 - 03
-----	-----------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
1(3)B	環境生活部が開催する北海道アザラシ管理検討会において、効率的な周年定着個体の削除及び被害防止対策を検討し、北海道アザラシ管理計画を適正に推進する。	0302	環境生活部生物多様性保全課	・管理計画推進のため、漁協等に対して、アザラシの目視数や漁業被害の状況を調査した。
		-	農政部生産振興局技術普及課	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
		<p>[連携内容] ・漁業者ハンターの育成にあたって道漁連や関係漁協と連携 ・振興局被害対策連絡会議の開催による情報交換等</p> <p>[連携先] ・関係漁業協同組合、北海道漁業協同組合連合会、関係市町村</p> <p>漁業者ハンターは、これまで30名を育成した。 海獣被害を受けている沿海市町村では、鳥獣交付金を活用し、海獣類の採捕・追い払い等の体制整備を進めている。これら体制強化によりド採捕は年々増加している。</p>

平成29年度 基本評価調書

施策名	海獣等による漁業被害対策の推進	施策コード	07 - 03
-----	-----------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	h27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h25	年度	h29	最終年度	h37					
	漁業生産額(万円) (漁業就業者1人当たり)(暦年)	基準年度	h25	年度	h29	最終年度	h37	年度	H27	H28	進捗率	・安定的な漁業経営の育成や、安全で良質な水産物の供給体制の構築、国内外での消費拡大の取組などが進展した。 ・なお、各年度の目標値は、「北海道水産業・漁村振興推進計画」に基づいて算出している。
		基準値	978	目標値	988	最終目標値	1128	目標値	932.0	960.0	1128.0	
【指標の説明】 漁業就業者1人当たりの漁業生産額		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	1079.0	-	1079.0	
		北海道総合計画 北海道水産業・漁村振興推進計画		2(1)B	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	115.8%	-	95.7%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由

● 達成度合について

達成度合	A	B	C	D	-
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調書

施策名	海獣等による漁業被害対策の推進	施策コード	07 - 03
-----	-----------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
1(3)B 2(1)B	1					A・B指標のみ	<漁業生産額【A】> ・安定的な漁業経営の育成や、安全で良質な水産物の供給体制の構築、国内外での消費拡大の取組などが進展した。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	
	1						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・漁業被害の軽減に向け国が策定した「トド管理基本方針」に基づく漁業者ハンターの育成やトドの駆除等、国や漁業関係団体と連携して効果的な取組を推進していることが認められる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	・トド駆除等総合的な被害防止対策による支援の充実・強化や漁具や漁獲物被害に対する補償など新たな支援制度の創設など、必要な要望を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・トドやオットセイによる漁業被害対策について、漁業被害を受けている地域から意見を聴取しており、施策の改善に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・アザラシ類による漁業被害の軽減に向けて、関係部と連携した成果が確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	・駆除等被害対策の実施について、振興局被害対策連絡会議の開催など、地域・団体との連携等を図っている。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	1(3)B 2(1)B	漁業者ハンターの育成、駆除、被害を軽減する強化網導入等、被害防止対策の実施とともに国に対しド駆除等被害防止対策の充実・強化及び漁具・漁獲物に対する被害補償など新たな支援制度創設の要望を行う。	A3192	-	C01701、C01703
②	1(3)B 2(1)B	ブラウントラウト・ブルーギルの駆逐には至っていないことから、引き続き、調査・駆除を実施し、生息・食性状況等のデータを蓄積するとともに、外来魚に関する会議に参加し、外来魚、産業管理外来種に関する情報収集等を行う。	-	-	-
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	海獣等による漁業被害対策の推進	施策コード	07	—	03
-----	-----------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	海獣等による漁業被害対策の推進	施策コード	07 - 03
-----	-----------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> ・平成30年度から、新たに経験の浅い漁業者ハンターに対して技能向上のための研修を実施することにより、育成の強化を図る。 （拡充：トド・オットセイ海獣類被害防止総合対策事業費）	
②	<新たな取組等> ブルーギルについては、函館市が主体となったボランティアによる釣りでの駆除が続いており、試験研究機関と連携した効果的な駆除の実施と知見の蓄積を図っていく。 ブラウントラウトについては、渡島管内さけ・ます増殖事業協会が中心となり、道ほか関係機関と協力して戸切地川等5河川(H29年度)でブラウントラウトの駆除・調査を行っており、サケ稚魚の捕食被害を防止するための生息数の抑制を図っていく。	
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	海獣等による漁業被害対策の推進	施策コード	07 — 03
-----	-----------------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	0 事業	0 事業	3 事業	2 事業	0 事業	0 事業	0 事業	5 事業
反映結果	- 事業	1 事業	3 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	5 事業

次年度新規事業 (予定)
事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0301	トド・オットセイ海獣類被害防止総合対策事業費	縮小	拡充
0302	トド採捕頭数の管理	現状維持	現状維持
0303	トド等被害・来遊実態の調査	現状維持	現状維持
0304	鳥獣被害防止特別措置法に基づく計画協議	現状維持	現状維持
0501	外来魚拡散防止総合対策事業費	縮小	縮小